

泌尿器科専門研修プログラム

診療科の特色

•泌尿器科とは尿路系における良性、悪性疾患と、男性生殖器及びそれに関わる疾患を扱う診療科です。診断から治療まで、内科的および外科的な手段で診療を行います。即ち、自分で病気を発見し、内科的または外科的に治療し、経過観察も継続できる診療科です。1つの診療科でこのように患者さんと関わることが出来る科は、意外と多くありません。

「こんな人、泌尿器科にどうですか！」

- **Da Vinci手術に興味がある人**—現在、ロボット手術は泌尿器科手術において主流といっても過言ではありません。前立腺全摘、腎部分切除、膀胱全摘、腎盂形成…。さらに適応は増えていくので思う存分ロボット手術ができます。
- **腫瘍に興味がある人**—尿路、生殖器には様々な腫瘍があります。治療も手術のほか、内分泌療法、放射線療法、抗癌化学療法、分子標的薬治療、免疫療法など多岐にわたります。手術方法も従来の開放手術のほか、ロボット手術、鏡視下手術など新しい術式を取り入れています。
- **女性泌尿器科に興味がある人**—腹圧性尿失禁、骨盤臓器脱に対する手術を行っています。近年普及してきた腹腔鏡手術、ロボット手術も導入予定です。
- **内視鏡に興味がある人**—古来より泌尿器科は腹腔鏡手術や経尿道的手術などEndourologyと言われる分野が盛んです。泌尿器科の内視鏡分野で独立した学会もあり、活発な分野です。
- **Plastic surgeryに興味がある人**—先天性腎盂尿管移行部狭窄に対する腎盂形成術、腸管を使った尿路再建、難治性の尿道損傷に対する手術、尿道下裂に対する小児の尿道形成術など再建分野もたくさんあります。
- **生理学、薬理学、再生医療など基礎医学に興味がある人**—排尿生理は未知の分野がまだまだあります。研究テーマには事欠きません。この分野では、尿路再生医療など信州大学から世界に発信している研究がいくつもあります。
- 他にも尿路結石、尿路感染症、男性不妊、腎臓内科と協力して行っている腎移植…。
- 泌尿器科は実は結構メジャーな内容を多く抱えた診療科です。言い換えると、頻度の高い疾患を取り扱ったり、多様な専門領域を内包した科であると言えます。泌尿器科に進めばその中にやりたいことがきっと見つかるはずです。



Da Vinci 手術



尿流動態検査

専門研修の魅力

【泌尿器科専門医の将来性とメリット】

• 泌尿器科学は尿路系における良性、悪性疾患と、男性の生殖器及びそれにかかわる疾患を扱う外科学の重要な分野です。現在の高齢化社会において、中高齢の男性及び女性の排尿に関わる問題は生活の質の向上という面で社会的にもかなり関心がもたれています。あわせて、尿路系の悪性腫瘍も高齢化に伴い増加傾向にあり、各病院でも症例数も増えています。

【信州大学・長野県での専門医としての意義とメリット】

- **「信州から世界へ！」**: 信州大学は、排尿障害・再生医療の基礎研究、臨床研究においては長年の経験と実績があります。国内学会・国際学会において精力的な活動を続け、新しい情報を世界に発信しています。
- **「地方だからこそ求められて実現できる多彩な診療スタイル！」**: 大都市では、例えば、前立腺癌はA病院、腎癌はB病院、尿路結石はC病院、など、専門分野に特化した病院が数多くあります。これは、地域に泌尿器科を有する病院がいくつもあるため、ある手術についてはエキスパートだが、他の手術は見たこともない、という泌尿器科医も少なくありません。しかし、長野県では各地域で泌尿器科疾患の住み分けをできるほど病院が多くないため、全ての泌尿器科疾患を診なければなりません。したがって泌尿器科医としてのあらゆる診療を経験し、その魅力に触れることができます。
- **「多数の関連病院を持つゆえの多様性・安定感」**: 信州大学は比較的古参の大学なので、県内病院のほとんどは信州大学の関連病院です。逆に、新設大学の場合、関連病院が少なくて将来の就職先が限られることがあります。将来の働き口が多彩にあることは将来的な安定感に繋がりますし、それは大変な魅力です。また、県外では山梨県でトップクラスの病床数を誇る山梨県立中央病院の泌尿器科は当科の関連です。長野・山梨の中核的な病院での研修が可能ですので、日本の標準以上の泌尿器科医師を育てる環境が揃っています。

研修カリキュラム

〈専門医を取得するまで〉

経験年数	内容	
卒後1-2年	初期研修	
卒後3-6年	後期研修	大学・関連病院で研修
卒後6年目～	専門医試験	経験年数以外の要件を満たす必要があります。

研修期間

初期研修を行った後、泌尿器科の医局員として後期研修を行っていただきます。

泌尿器科で4年間の研修を行った時点で、泌尿器科専門医試験があり、これにパスすると、泌尿器科専門医として認定されます。専門医取得後、5年間泌尿器科専門医認定施設で臨床にあたり、規定の実績を積み重ねて、指導医の申請ができるようになります。

プログラム構成病院の概要(研修中に派遣される病院の指導体制など)

信州大学医学部附属病院をはじめ、「将来の就職先など」の欄で後述する県内外の関連病院で研鑽を積んでいただきます。

専門医取得までの4年間には、そのうち2年を研修期間施設(大学病院)、2年を研修連携施設(中でも、指導医が2名以上常勤していて、経験できる症例が多い関連病院)での勤務になります。

この間、希望があれば大学院に入学し、大学病院で臨床を行いながら研究を進める大学院進学コースを選択することもできます。関連病院に勤務しながら大学院で研究もしたい、という場合は、社会人大学院の制度もあります。



医局員集合写真

サブスペシャリティ・学位取得の道筋

泌尿器科学会の専門医以外にも、サブスペシャリティとしての専門医、認定医の資格も多数あります。すべて網羅しきれませんが、現在の医局員が取得した資格の中で代表的なものとして、以下のようなものがあります。

・泌尿器腹腔鏡技術認定医(日本泌尿器内視鏡学会、日本内視鏡外科学会)

サブスペシャリティの中でも、“若い泌尿器科医師が取得したい資格ナンバーワン”といわれています。

・ロボット手術認定医(日本泌尿器内視鏡学会、日本ロボット外科手術学会)

近年、ロボットを用いた手術術式は増加しております。ライセンスを取得することにより、多彩な手術を行う可能性が広がります。

・腎移植認定医(日本移植学会、日本臨床腎移植学会)

腎移植の数は10年で2倍に増えていると言われています。最強の腎代替医療です。信州大学では、内科・血管外科・泌尿器科が一丸となって、腎移植も積極的に行っています。地方大学の役割として重要です。信州の移植医療を支える人材を求めています。

・小児泌尿器科認定医(日本小児泌尿器科学会)

泌尿器科の中でも小児は特殊で、一味違う難しさと面白さがあります。これも、各県にスペシャリストが必要です。

・癌治療認定医(日本癌治療学会、癌治療認定医機構)

泌尿器科に限らず、全ての悪性腫瘍に対する知識、実績が求められます。

・ICT(日本感染症学会、他)

これも泌尿器科に限らずあらゆる知識が必要です。

・超音波専門医(日本超音波医学会)

臨床一般なことから基礎的なことまで要求される資格です。領域横断で、学会員の多い大きな学会です。泌尿器科領域の専門医は少ないので、ある意味で価値の高い資格です。

・日本排尿機能学会認定医(日本排尿機能学会)

臨床一般なことから基礎的なことまで要求される資格です。患者のQoLを支える排尿のスペシャリストです。

その他、専門医制度を敷いていない学会も多数あり、所属している学会は多岐にわたっています。

大学院での研究テーマ、臨床研究のテーマなど

<大学院での研究テーマ>

信州大学では、排尿障害、再生医療が基礎研究の柱となっています。

・ 排尿機能の研究

様々な環境下での排尿に対する影響を調べています。

糖尿病、高血圧、閉経、といった全身状態、冷ストレスによる排尿の変化、各種新規薬剤の効果 など

・ 再生医療の研究

膀胱は複雑な神経支配と機能を持っている臓器で、移植が不可能な臓器です。

また、iPS細胞が臨床応用される現在でも再生は容易ではありません。

当教室では、幹細胞を使用して、下部尿路の機能再建を研究しています。

脂肪幹細胞を用いた尿道の3Dプリンターを用いた再生医療の研究が行われています。

膀胱の再生は、幹細胞が話題になる以前からの教室創立以来のテーマです。

<臨床研究テーマ>

信州大学では、様々な内容の臨床研究を行っております。

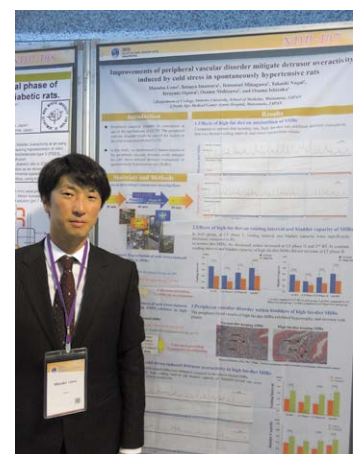
・ 膀胱癌の局在診断の研究

・ 腎癌に対する治療パターンの解析

・ 膀胱癌に対する新規治療薬多施設臨床研究

・ その他

尿道再生に関する多施設臨床研究、新規排尿障害治療の多施設臨床研究、尿流測定の新規開発、医療機器の開発など



海外での学会発表も豊富です

国内留学・海外留学

排尿生理の基礎研究や内視鏡手術の技術習得(腹腔鏡/da Vinci手術)に、国内外の著名な施設へ留学しています。

過去の留学先

Lund大学(スウェーデン)
Copenhagen大学(デンマーク)
Virginia大学(アメリカ)
Pittsburgh大学(アメリカ)
McGill大学(カナダ)
Mayo Clinic(アメリカ)
Texas A&M大学(アメリカ)
Antwerpen大学(ベルギー)
名古屋大学



ピッツバーグでの生活



名古屋大学での手術トレーニング

将来の就職先など

【関連病院、その他医局員の就職先】

- 長野県内: 安曇野赤十字病院、飯田市立病院、伊那中央病院、長野県立こども病院、長野県立木曽病院、浅間南麓こもろ医療センター、佐久総合病院、南長野医療センター篠ノ井総合病院、岡谷市民病院、市立大町総合病院、諏訪赤十字病院、信州上田医療センター、長野市民病院、長野松代総合病院、丸の内病院、北信総合病院、富士見高原病院、まつもと医療センター
- 山梨県: 山梨県立中央病院

最後にひとこと

•教室の伝統をあらわす言葉として「Liberty」「Surgery」「Urodynamics」の3つがあります。

当教室の入り口には、金属プレートに刻まれた当教室の伝統が掲げられています。

Liberty

なんと素晴らしい言葉でしょうか。事実、互いに自由に意見を述べあえる、活気ある教室です。言い換えると、和やか、ユルめ、ともとれますが、ヤルときはヤります！

Surgery

泌尿器科学は外科の一部門であり、基本は手術です。泌尿器科ならではの手術の喜びがあります。

Urodynamics

信州大学の伝統であり得意分野です。これを抜きに、信州大学泌尿器科は語れません！

•当教室のウリは何といっても「雰囲気良さ」です。これは当教室の伝統であり、おそらく普遍的なものです。仕事は楽しく、かつ適度に厳しく行うのが一番です。

是非、我々と共に信州大学泌尿器科を盛り上げていきましょう！！

連絡先

信州大学医学部 泌尿器科学教室

■住所: 〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1 ■電話: 0263-37-2661 ■FAX: 0263-37-3082

■E-mail : urology@shinshu-u.ac.jp(医局代表)

■U R L: <http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/chair/urology/>

■専門研修プログラムの詳細は、信州大学医学部附属病院HP 卒後臨床研修センター → 専門研修 [泌尿器科]